

回復へのトランスフォーメーション 変容

記録映画『ライフアーズ～終身刑を超えて～』上映会と 薬物依存回復者によるトーク

北九州ダルクは、平成 18 年度に特定非営利活動法人となり、新たな事業展開をしているところです。現在、毎月第 3 日曜日の家族ミーティングや、薬物相談、ピア・カウンセリング、刑務所や病院へのメッセージ活動など、継続的で活発な活動により、北九州の薬物依存症者の回復支援機関として、誇るべき活動内容を擁しています。

毎年、市民の方々へ向けて、ダルクフォーラムとして薬物乱用依存問題の啓発事業を行っていますが、今年度はフォーラムに替わり、映画上映会の開催により、ダルクとともに回復へのメッセージをお届けします。

どなたでもご参加できます。ふるってご参加ください。

- と き 平成 20 年 1 月 14 日（月曜日・祝日）13:30～
- ところ 北九州市総合保健福祉センター（アシスト 21）2 階講堂（北九州市小倉北区馬借 1 丁目 7-1）
- プログラム 13:30 開場
14:00 「ライフアーズ」上映開始
15:30 「ライフアーズ」を巡るトーク
コーディネーター 精神保健福祉センター所長 三井 敏子
発言者 北九州 DARC 施設長 伊藤 弘行氏
北九州 DARC スタッフ 堀井 宏和氏
- 16:20 終演
- 申込み 不要
- 入場 無料
- 問合わせ 北九州市立精神保健福祉センター TEL 093 (522) 8729 大穂・松浦・市丸

ライフアーズ "Lifers" とは、終身刑受刑者、つまり、刑務所の中で人生を終える人々のことです。

映画のなかで、物腰柔らかく回復を語る実在の人々でもあります。彼らは、過去、道ならぬ罪を犯し、終身刑となり、服役の中で **アミティ**（薬物依存症者や犯罪者の更生施設）と出会い、人生の物語が、変わり始めます。「社会復帰してゆく受刑者が再犯しないように働きかけること、これが取り返しのない罪を犯した自分のできることだと思う。問題は、どこにいても、未来にどう生きるかを抱く力、希望をつなぐ心だ」と、彼らは語ります。

この映画は、米国の **アミティ** の活動をドキュメンタリーとして紹介したものです。暴力からの開放、あらゆるアクションからの回復、生きづらさの背景や支援のあり方、法制度と文化…。豊かな映像には、それに向かう人それぞれのテーマが浮かび上がることでしょう。

上映会に続くトークでは、私たちの地域で治療共同体に関わり、回復のプロセスを経験されておられる北九州ダルクの方々に、自由なご発言をいただきたいと思ひます。

※アミティとは、ラテン語で友情・友愛を意味し、米国の 3 つの州（アリゾナ州、カリフォルニア州、ニューメキシコ州）に 10 の施設を持つ、犯罪者や薬物・アルコール依存症者の社会復帰を支援する NPO（非営利団体）です。

- 主催：北九州市立精神保健福祉センター・北九州市薬物対策推進本部
- 後援：特定非営利活動法人北九州 DARC・北九州医療刑務所薬物問題研究会
北九州ダルクを応援する会